



<9月号>

# 朝三中だより

<目指す学校像> 一人一人が輝き 感動と笑顔あふれる学校

朝霞市立朝霞第三中学校  
令和2年8月21日発行

〒351-0023

朝霞市溝沼 1043-1  
TEL048(464)7575  
FAX048(460)2280

## 凡事徹底

校長 杉山 巖

8月1日からの例年とは違う短い夏休みが終わりました。1学期の終業式で「夏休みは短いけれど、その分、大事に過ごして欲しい」と話をしましたが、大事に過ごせたでしょうか。

実際は、毎日の生活はあまり変わらず、塾や部活があつて、1学期と同じように忙しく終わってしまった人もいるかもしれません。また『新型コロナ感染症予防』と『熱中症予防』とで、つらい毎日だったかもしれません。その中で少しでも「良かった」、「満足できた」と思えることがあればうれしい限りです。

現在の見通しが持てない『コロナ禍』と言われている危機的状況も、皆さんは**長い人生の一つの経験と前向きにとらえ、進まなければならない現実**があります。各世代で少しずつ状況は違うかもしれませんが、皆さんだけではない、世界中のみんなが大変な経験をしています。

会社も大変です。自治体も大変です。学校も大変です。それでも私たちは嘆いてばかりいても始まりません。**リスクをゼロにして行動することが困難**な中、どう活動していけばよいのか、みんなが模索しています。

会社ではこの厳しい経済状況をどう立て直せばよいのか、自治体も財政が厳しくなったところから、どう市民を援助していけばよいのか、学校も3ヶ月間の休校期間の遅れをどう取り戻していけばよいのか、まだまだ試行錯誤しているところです。

夏になれば、「ウイルスの活動が鈍くなるのでは」という期待もありましたが、残念ながら新型コロナウイルスの感染者は改善に向かっているとは言いがたい状況で、見通しはまだまだ見えないようです。

**そして2学期**を迎えました。この状況の中で、私たちは何をすれば良いのでしょうか。どう行動すれば良いのでしょうか。

新型コロナウイルスに感染した人の状況から考えると、繰り返しになりますが、やはり『**当たり前のことを当たり前**にやり続けること』、『**新しい生活様式**をやり続けること』が**大事**だと考えます。

『**凡事徹底**』という言葉があります。

『**凡事**』とは、『**当たり前**』のこと、『**当たり前**』とは『**誰にでもできること**』であり、『**生きていく上で大切に必要**な事柄』です。

『**凡事徹底**』とは、この『**当たり前のことを当たり前**にやり続けること』という意味ですが、それだけではなく、その奥には『**誰にでもできる**当たり前のこと』を、『**人にはまねできないほど一生懸命徹底して行うこと**』という意味もあるそうです。

『**新しい生活様式**』に対しての『**凡事徹底**』を通して、三中生は**何事にも一生懸命になれる生徒**であって欲しいと願っています。